委員会のうごき

総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、「平成19年度八潮市一般会計補正予算（第4号）」の分割付託1議案、条例関係では、「八潮市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び八潮市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について」などの2議案のあわせて3議案の審査を行いました。

「平成19年度八潮市一般会計補正予算（第4号）」の分割付託の関係では、「自治基本条例の制定に向けて検討組織の公募で、年齢をなぜ20歳以上としたのか、また、市民の公募者数を13名とし、その人数を超えた場合はどうなのか。」との質疑に対して、「検討組織の市民公募にあたって、年齢を20歳以上としたことについては、会議が夜間になる場合も想定して設定した。また、検討組織の委員については、25人程度予定しており、その内学識経験者が3名、市民の公募が13名、市民関係団体から9名をお願いすることで予定している。公募が13名を超えた場合については、例えば、14、15名程度であれば検討させていただきたい、現在では、13名ということで考えている。」との答弁がありました。

議案の審査結果については、3議案すべて可決すべきものと決定しました。

建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、「平成19年度八潮市一般会計補正予算（第4号）」の分割付託をはじめ、「平成19年度八潮市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）」などの補正予算関係5議案の審査を行いました。

議案の審査結果については、5議案すべて可決すべきものと決定しました。

なお、議案審査に先立ち、委員会の所管事務調査のため、「八潮駅南口周辺整備事業地」の現地視察を行いました。

視察風景

民経消防常任委員会

委員会に付託された議案については、「平成19年度八潮市一般会計補正予算（第4号）」の分割付託をはじめ、補正予算関係3議案、条例関係では、「八潮市後期高齢者医療に関する条例について」など5議案のあわせて8議案の審査を行いました。

「八潮市環境基本条例について」では、意見として、「この条例制定自体は素晴らしい取り組みであると評価するが、まだまだ議論の必要がある。一点目として、条例制定までのプロセスが不十分である。審議会の検討時間は実質4時間弱、パブリックコメントも実施していない。条例制定前に市民の意見を十分に受ける姿勢が大切である。二点目として、条例の礎となる基本計画の策定に議会の議決を要しない点である。すでに全国の746自治体で条例制定されており、八潮市は後発組といえる。それならば、中身の濃い、先進的な事例を取り入れての条例にすべきと考える。ISO14001を取得している自治体として、もっと積極的に八潮市らしさをアピールできる条例を目指していただきたい。このようなことからこの条例に反対である。」との発言がありました。

「八潮市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」では、意見として、「この条例改正は、平成18年の八潮市国民健康保険条例の一部改正により、出産費補助金が30万円から35万円に増額になるとき、葬祭費補助金8万円は5万円に減額することを検討していたが、後期高齢者医療制度の導入の動向をみて行うとして、今回の条例改正の上程となったとの説明があった。

この改正で近年の状況からみて900万円の効果があるとのことである。かつて葬祭費補助を検討するとき、市内に火葬場がなく、市民負担が近隣市より大変だとのことで金額が検討されてきた。医療改悪による市民負担も大変になっている中で、本来であれば後期高齢者医療制度における葬祭助成金の市独自の上乗せこそ、検討されるべきだと考える。このようなことからこの条例改正に反対する。」との意見がありました。

議案の審査結果については、8議案すべて可決すべきものと決定しました。

特別委員会関係

■外環・東埼玉道路周辺対策特別委員会の開催

11月14日、外環・東埼玉道路周辺対策特別委員会が開催され、所管事項に関連のある「柿木地区総合開発計画事業について」を調査するため、草加市を視察研修しました。

■小中一貫教育等調査研究特別委員会の設置

12月18日、小中一貫教育に伴い、学校教育の充実を図ることを調査研究するため、「小中一貫教育等調査研究特別委員会」が設置されました。

なお、この特別委員会は議員10名により構成されています。

委員長＝渋谷敏男
副委員長＝広沢　昇
委　員＝矢澤江美子、大久保龍雄、瀬戸知英子、服部清二、池谷和代、郡司伶子、森　伸一、武之内清久

用語　特別委員会

議案その他必要な議決事項は、最終的には本会議で決定されますが、行政は、広範、複雑化、専門化していきます。そこで、議案等を合理的かつ能率的に調査、審査するため、いくつかの部門別に詳しく審査した方がより効果的です。そのために、各部門ごとに『委員会』が設けられており、委員会の中で、『特別委員会』は、必要に応じて設置されるものです。

陳情

■開発許可基準等の緩和による区域指定の拡大に関する陳情

■市町村公的審議会等委員への宅地建物取引業者の登用に関する陳情

■農地法届出処理の迅速化に関する陳情

■都市計画道路用地取得業務の宅地建物取引業者への民間委託に関する陳情

以上四件の陳情者

㈳埼玉県宅地建物取引業協会
埼玉東支部　支部長　河井孝夫

■原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書についての陳情書

陳情者　原爆症認定集団訴訟を支える埼玉の会、世話人団体（埼玉県地域婦人会連合会ほか）

議案

■議案第108号　人権擁護委員の推薦について

平成20年3月31日をもって任期満了となる人権擁護委員に、恩田聿脩氏（おんだ　のぶなお、大字二丁目249番地）の推薦について同意しました。

■議案第109号　人権擁護委員の推薦について

平成20年3月31日をもって任期満了となる人権擁護委員に、荒舩まさ子氏（あらふね　まさこ、南後谷648番地2）の推薦について同意しました。

編集後記

議会報編集委員会から

引き続き委員長を務めることとなりました森です。

議会報編集委員会は、各会派より1名、そして正副議長を含めた7人の委員で構成されておりまして、議会の正式な広報紙という観点から、議会でのことを事実に基づき忠実に記載し、偏ることが無い様に公平性を絶対とした編集に努めております。一方で、これまでの編集改革によりまして、記名文書においては、可能な限り執筆者の表現を尊重し、難解な議会用語については解説を付けるなど、限られた紙面を最大限に活用しつつ、皆様に親しんで頂けるように編集しているところです。

これからも、総括質疑や一般質問の詳細が閲覧できる八潮市議会ホームページと共に、「やしお市議会だより」をご愛読いただき、お気軽にご意見ご感想などをお寄せ下さい。

（森　伸一）

「やしお市議会だより」は、新聞折り込みでお届けしています。市役所、八潮駅、お近くの公共施設などでもお受け取りになれます。